

## 6. 教員活動報告

阿部 仁

学会発表

- (1) (Co-presented with Bean, M., Ephraimson-Abt, V., & Wu., A.) Facilitating intercultural understanding through experiential learning. Workshop conducted at NAFSA: Association of International Educators Conference, Denver, CO. May, 2016..

庵 功雄

著書

- (1) 『やさしい日本語—多文化共生社会へ—』岩波書店、2016.8

共編著

- (1) (佐藤琢三・中俣尚己との共編著)『日本語文法研究のフロンティア』くろしお出版、2016.5

論文

- (1) 「「産出のための文法」から見た「は」と「が」」庵 功雄・佐藤琢三・中俣尚己編『日本語文法研究のフロンティア』pp.289-306、くろしお出版、2016.5
- (2) 「日本語教育と日本語のわかりやすさ」野村雅昭・木村義之編『わかりやすい日本語』pp.153-166、くろしお出版、2016.10
- (3) 「文法項目の導入で考慮すべきこと—「と思う」とその関連表現を例に—」『日語教育与日本学』8、pp.66-75、華東理工大学出版社、2016.10
- (4) 「これから求められる文法研究—日本語教育の観点から—」『日中言語研究と日本語教育』9、pp.37-47、好文出版、2016.10
- (5) 「近代語から現代語における名詞修飾に関わる言語変化についての一考察—1 項名詞に前接する限定詞を例に—」福田嘉一郎・建石始編『名詞類の文法』、pp.3-20、くろしお出版、2016.11
- (6) 「外国人だけでなく日本人のコミュニケーション力も高める「やさしい日本語」」『広報』755、pp.15-17、公益社団法人日本広報協会、2016.12
- (7) (岡典栄との共著) “A Preliminary study on teaching written Japanese to deaf children” *Hitotsubashi Journal Arts and Sciences*. 57-1、pp.21-28、一橋大学、2016.12
- (8) 「マスコミの言説に潜む誘導性—NHK「時論公論」の場合—」『メディアのことばを読み解く7つのこころみ』、pp.141-159、ひつじ書房、2017.2
- (9) (高梨信乃・齊藤美穂・朴秀娟・太田陽子との共著) 「上級学習者に見られる文法の問題—修士論文の草稿を例に—」『阪大日本語研究』29、pp.159-185、大阪大学、2017.2

- (10) (早川杏子との共著)「JSL 生徒対象の漢字教育見直しに関する基礎的研究—理科教科書の音訓率を中心に」『人文・自然研究』11、pp.4-19、一橋大学、2017.3
- (11) “The passivization of Sino-Japanese verbs by Chinese and Korean speakers”, *Proceedings of PacSLAF*. 2016、pp.83-86、日本第二言語習得学会、2017.3

#### 学会発表

- (1) 「大学における英語中心主義を生き延びるための留学生日本語教育とくやさしい日本語」『言語文化教育研究学会 第3回年次大会予稿集』pp.2、言語文化教育研究学会、2017.2

#### 講演

- (1) 『「にほんごこれだけ!」を使ったおしゃべり型指導法」福井県国際交流協会、2016.8.28
- (2) 「日日研が求めているもの」、日本語/日本語教育研究会第8回大会、学習院女子大学、2016.10.2
- (3) 「「やさしい日本語」の理念」熊本県立大学、2016.10.21
- (4) 「情報発信において大切なこと」「誰にも伝わる情報発信」ワークショップ、東京自治会館、2016.11.4
- (5) 「多文化共生社会とくやさしい日本語」多言語対応・ICT化推進フォーラムパネルディスカッション、ベルサール東京日本橋、2016.12.20
- (6) 「日本語教育において必要な文法研究とは何か」公開シンポジウム「現場の疑問と研究をつなぐ」、日本女子大学、2016.12.24
- (7) 「留学生日本語教育の新しい展開と文法シラバスの見直し—くやさしい日本語」の視点から—」立命館大学、2017.2.16

#### 研究プロジェクト

- (1) 平成 25 年度～28 年度科学研究費補助金（基盤研究（A））「やさしい日本語を用いた言語的少数者に対する言語保障の枠組み策定のための総合的研究」（研究代表者）
- (2) 平成 25 年度～27 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「日本語学習者の母語場面・接触場面を対象とした対話コーパスの構築と分析」（研究代表者：澤田浩子）（研究分担者）
- (3) 平成 26 年度～28 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「社会科学系基礎文献における語彙の分野横断的包括分析調査と Web 辞書の試作」（研究代表者：今村和宏）（研究分担者）
- (4) 平成 28 年度～30 年度科学研究費補助金（挑戦的萌芽研究）「メディアの言説に介在する「二重の誘導性」に関する量的質的研究」（研究代表者：名嶋義直）（研究分担者）

**今村 和宏**

**論文**

- (1) 「平和と脱原発を考えるためのメディア・リテラシー」名嶋義直編『メディアのことはばを読み解く7つのこころみ』、pp.29-50、ひつじ書房、2017.2

**学会発表**

- (1) (庵功雄と共同)「社会科学基礎文献における高頻度二字漢語(名詞)と共起する動詞の分野別使用特性」専門日本語教育学会第19回研究討論会、2017.3.3、横浜国立大学

**講演**

- (1) 『『新・戦争のつくりかた』とメディア・リテラシー ～今、平和のためにできること～』桑員合同平和教育学習会、三重県教職員組合桑名支部、桑名市、2016.7.28

**研究プロジェクト**

- (1) 平成26年度～28年度科学研究費補助金(基盤研究(C))「社会科学系基礎文献における語彙の分野横断的包括分析調査とWeb辞書の試作」(研究代表者)
- (2) 平成28年度～31年度科学研究費補助金(基盤研究(B))「文脈情報を用いた日本語学習者の文章理解過程の実証的研究」(研究分担者)
- (3) 平成28年度国立国語研究所共同研究プロジェクト「日本語学習者のコミュニケーションの多角的解明」(研究分担者)

**太田 浩**

**論文**

- (1) (新見有紀子、渡部由紀、秋庭裕子と共著)「グローバル人材育成と留学の中・長期的インパクトに関する研究—留学経験者と留学未経験者に対するオンライン調査結果より—」『アジア文化研究』23、国際アジア文化学会、pp.3-25、2016.6
- (2) 「高等教育の国際化をめぐる動向と課題」『国際教育』22、日本国際教育学会、pp.1-9、2016.9
- (3) (渡部由紀と共著)「日本の大学の国際化評価に資する体系的指標群構築の一考察」『国際教育』22、日本国際教育学会、pp.55-82、2016.9

**書評**

「東アジアにおける留学生移動のパラダイム転換(嶋内佐絵著)」『比較教育学研究』54、日本比較教育学会、pp.213-215、2017.1

**学会発表**

- (1) (Co-presented with Yuki Watabe, Anne M. D'Angelo, & Galye A. Woodruff) “Examining Internationalization Indicators and Metrics in the United States and Japan”, pp. 81, NAFSA 2016 Annual Conference & Expo, Colorado Convention Center, Denver, June 3, 2016.

- (2) “Current Trends in Internationalization at Japanese Universities”, p. 78 (3754), 66<sup>th</sup> International Communication Association Annual Conference, Hilton Fukuoka Sea Hawk, Fukuoka, June 10, 2016.
- (3) “Employment of International Students in Japan: Opportunities and Challenges”, IEAA/IERN International Research Roundtable 2016: The Social Impact of International Education, CQ University Melbourne, October 18, 2016.
- (4) “Exploring the Long-term Impact of Study Abroad: A Case Study of Japanese”, Australian International Education Conference 2016, Melbourne Convention and Exhibition Center, Melbourne, October 20, 2016.
- (5) “Hot Topics in International Education in Japan”, Australian International Education Conference 2016, Melbourne Convention and Exhibition Center, Melbourne, October 21, 2016.
- (6) “Re-inventing Japan Project (Inter-University Exchange Project)”, p. 65, 2017 AIEA Annual Conference, Washington Marriot Wardman Park, Washington, DC, February 20, 2017.
- (7) “Creating an EMI Program to Expand Student Exchange”, p. 86, 2017 AIEA Annual Conference, Washington Marriot Wardman Park, Washington, DC, February 21, 2017.
- (8) “Recent Policies and Changes in International Students in Japan”, p. 48-49, APAIE 2017 Conference & Exhibition, Kaohsiung Exhibition Center, Kaohsiung, March 20, 2017.
- (9) “Expanding International Student Exchange through an EMI Program (HGP) with Language Education”, p. 115, APAIE 2017 Conference & Exhibition, Kaohsiung Exhibition Center, Kaohsiung, March 23, 2017.

#### シンポジウム

- (1) “Exploring the Long-term Impact of Study Abroad: A Case Study of Japanese People”, G7 International Higher Education Summit: International Higher Education-Challenges for a Greater Impact on Global Academic Mobility-, JASSO Tokyo International Exchange Center, Tokyo, May 19, 2016.
- (2) “Policies and Trends in International Student Mobility to and from Japan”, Preparing a Global Workforce: The Role of Higher Education, Hilton Okinawa Chattan, Chattan (Okinawa), June 15, 2016.
- (3) “Recent Policies and Changes in Internationalization in Japan”, Disrupting Higher Education Dialogues: Re-imagining Internationalization, Deakin University, Burwood (Australia), November 24, 2016.

## 講演

- (1) “Japanese Higher Education and International Education: A Comparative Perspective”, Northeastern University’s Dialogue of Civilizations, Japan: Perspectives on Politics, Identity, and History, Meiji University, Tokyo, May 12, 2016.
- (2) 「韓国における企業との連携・協力による宿舍建設と管理運営：西江大学と建国大学」、大学の国際化と留学生リクルート・アドミッション・エンロールメントマネジメントの将来像を考える－韓国、豪州の大学の先進的事例から何を学ぶか？－、東洋大学スーパーグローバル大学創成事業セミナー、東洋大学、2016.5.20
- (3) “Recent Policies and Trends in International Education in Japan”, Round Table Discussion/Open Dialogue: Issues and Perspectives on U.S.-Japan Educational Exchanges, Japan-U.S. Educational Commission, Tokyo, June 22, 2016.
- (4) 「大学教育の国際化：英語によるプログラムの開発と課題」、如水会監査役懇話会、如水会館、2016.7.8
- (5) “International Student Mobility and Highly-Skilled Migration”, Introduction to Global Studies (IGS200-1), Akita International University, Akita, July 14, 2016.
- (6) 「グローバル化を迎えた大学が抱える課題」、JTB 大学グローバル領域拡大に向けた社員セミナー、TKP 品川カンファレンス・センター、2016.9.27
- (7) 「一橋大学の HGP がもたらした効果とベネフィット」、グローバル人材と英語による教育：日本海側の視点から、新潟県立大学、2016.11.29
- (8) 「グローバル化を迎えた大学が抱える課題と展望」、東北大学グローバルイニシアティブセミナー、東北大学片平キャンパス、2016.12.22
- (9) 「グローバル化する高等教育における国際化戦略・政策・実践」、東北大学アカデミック・リーダー育成プログラム、東北大学川内北キャンパス、2016.12.23
- (10) 「グローバル化する高等教育における国際化戦略と実践－留学生リクルーティングを事例として考える－」、第 2 回桜美林大学大学院研修会、桜美林大学町田キャンパス、2017.3.1
- (11) 「海外の大学との比較を通して日本の大学の課題を考える：アメリカの例を主に」、海外との比較で考える大学のこれから、私たちのこれから、横浜国立大学、2017.3.15

## 研究プロジェクト

- (1) “Project Atlas of Student Mobility,” IIE Research Project, Institute of International Education, New York, USA, 2009-Present.
- (2) 日本学生支援機構「日本人海外留学生数に関する調査」(2013～16年度)
- (3) 平成 27 年度～32 年度科学研究費補助金(基盤研究(A))「アジアにおける「知識外交」と高等教育の国際化に関する実証的研究」(研究代表者：北村友人)(研究分担者)

## 6. 教員活動報告

- (4) 平成 27 年度～30 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「大学評価における指標デザインとその活用方法の開発」（研究代表者：山崎その）（研究分担者）
- (5) 平成 28 年度～30 年度科学研究費補助金（基盤研究（B））「外国学歴・資格認証における国際同等性の比較研究」（研究代表者：芦沢真五）（研究分担者）
- (6) 平成 28 年度～30 年度科学研究費補助金（基盤研究（B））「急速に発展するアジアの高等教育における大学国際化評価に関する実証的研究」（研究代表者：新田功）（研究分担者）
- (7) 平成 28 年度～30 年度科学研究費補助金（基盤研究（B））「大学教育のグローバル・スタディーズ 競争・連携・アイデンティティ」（研究代表者：米澤彰純）（研究分担者）

### 太田 陽子

#### 論文

- (1) （高梨信乃・齊藤美穂・朴秀娟・庵功雄と共著）「上級日本語学習者に見られる文法の問題—修士論文の草稿を例に—」『阪大日本語研究』29、pp.159-185、大阪大学、2017.2

#### 講演・シンポジウム

- (1) 日本女子大学学術交流・日本女子大学大学院文学研究科主催公開シンポジウム「現場の疑問と研究をつなぐ」指定討論者、日本女子大学、2016.12.24
- (2) 朝日カルチャーセンター日本語教育研修講座「中級日本語文法マスター 類義表現を中心に」、朝日カルチャーセンター、2016.9.6、2016.9.13
- (3) 朝日カルチャーセンター日本語教育研修講座「初級日本語文法マスター 運用のための練習に必要な視点 —「てある」を例に—」、朝日カルチャーセンター、2017.3.6、2017.3.13

#### 研究プロジェクト

- (1) 平成 28 年度～30 年度科学研究費補助金（基盤研究（C）一般）「高等教育機関で学ぶ留学生に対する日本語教育シラバスの再構築」（研究代表者）

### 五味 政信

#### 共編著

- (1) （石黒圭との共編著）『心ときめくオキテ破りの日本語教授法』くろしお出版、2016.5

#### 論文

- (1) 「『楽しい日本語授業』の条件とは何か？」『心ときめくオキテ破りの日本語教授法』pp. 185-200、くろしお出版、2016.5

#### 報告

- (1) 「『五味版学習者用ベトナム語辞典』を編んで」『言語文化』Vol.53、pp.116-117、一橋大学語学研究室、2017.3

## 研究プロジェクト

- (1) 平成26年度～28年度文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(C))「社会科学系基礎文献における語彙の分野横断的包括分析調査とWeb辞書の試作」(研究代表者:今村和宏)(研究分担者)
- (2) 平成28年度～30年度科学研究費補助金(基盤研究(B))「文脈情報を用いた日本語学習者の文章理解過程の実証的研究」(研究代表者:石黒圭)(研究分担者)

## 新見 有紀子

### 著書

- (1) (Coauthored with Akiyoshi Yonezawa) “Transformation of University Governance through Internationalization: Challenges for Top Universities and Government Policies in Japan”, In N. C. Liu, Y. Cheng, & Q. Wang (Eds.), *Matching Visibility and Performance: A Standing Challenge for World-Class Universities*, Rotterdam, The Netherlands: Sense Publishers, pp.103-118, 2016. 10.

### 論文

- (1) (米澤純彰と共著)「留学経験の効果意味」『IDE 現代の高等教育』581号、pp.47-53、2016.6
- (2) (太田浩、渡部由紀、秋庭裕子と共著)「グローバル人材育成と留学の中・長期的インパクトに関する研究:留学経験者と留学未経験者に対するオンライン調査結果より」『アジア文化研究』23号、pp.3-25、2016.6
- (3) (秋庭裕子と共著)「大学・大学院留学経験がもたらす金銭的・非金銭的便益:留学未経験者との比較分析に基づく一考察」『国際教育』22号、pp.83-104、2016.9
- (4) (秋庭裕子と共著)「学部レベルの海外留学経験が能力・意識の自己評価にもたらすインパクト:学位取得目的、単位取得目的留学経験者と留学未経験者に対するオンライン調査結果の比較より」『留学生教育』21号、pp.37-44、2017.3

### 学会発表

- (1) 「海外留学の中長期的なインパクト:留学経験者と未経験者に対するオンライン質問票調査結果の比較から」『異文化間教育学会第37回大会』、異文化間教育学会、桜美林大学、2016.6.5
- (2) (渡部由紀、秋庭裕子と共同発表)「グローバル人材育成と留学の中・長期的インパクトに関する研究:留学経験者と留学未経験者に対するオンライン調査より」『国際アジア文化学会第25回大会』、和洋女子大学、2016.6.25
- (3) (岡本能里子と共同発表)「キャリア形成の可能性」『第2回大学教育における海外体験学習研究会』、東洋大学、2016.8.28

- (4) (Co-presented with Fumitake Fukui, Takayuki Hayashi, Iwao Miyamoto and Takahiro Ueyama) “International Comparison of Key Performance Indicators (KPIs) in University Strategic Plans”, Higher Education Planning in Asia 2017, Tokyo Institute of Technology, March, 21, 2017.

**研究プロジェクト**

- (1) 平成 27 年度～31 年度科学研究費補助金（基盤研究（A）海外学術調査）「アジアにおける「知識外交」と高等教育の国際化に関する実証的研究」（研究代表者：北村友人）（研究協力者）
- (2) 平成 28 年度～30 年度科学研究費補助金（基盤研究（B））「急速に発展するアジアの高等教育における大学国際化評価に関する実証的研究」（研究代表者：新田功）（研究協力者）
- (3) 政策研究大学院大学科学技術イノベーション政策研究センター研究プロジェクト「イノベーションシステムを推進する公的研究機関の制度的研究」（客員研究員）（平成 28 年度～平成 30 年度）

**高橋 紗弥子**

**研究プロジェクト**

- (1) 平成 26 年度～28 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「社会科学系基礎文献における語彙の分野横断的包括分析調査と Web 辞書の試作」（研究代表者：今村和宏）（研究分担者）
- (2) 平成 28 年度～30 年度科学研究費補助金（基盤研究（C）一般）「高等教育機関で学ぶ留学生に対する日本語教育シラバスの再構築」（研究代表者：太田陽子）（研究分担者）

**西谷 まり**

**論文**

- (1) 「ビジネスコミュニケーションにおける不安と失敗ーベトナム日本企業における日本人社員とベトナム人社員の比較ー」『一橋大学国際教育センター紀要』7 号、pp.3-14、一橋大学国際教育センター、2016.7

**学会発表**

- (1) 「異文化対処能力と失敗観の関係ーベトナム日本企業における日本人社員とベトナム人社員の比較ー」『異文化間教育学会第 37 回大会発表抄録』pp.86-87、桜美林大学、2016.6
- (2) 「FishWatchr を利用した日本語授業評価」『日本教育工学会研究報告会 JEST16-4』pp.149-154、宮崎市民プラザ、2016.11（岩崎 拓也と共著）

- (3) 「授業評価における失敗の観点—FishWatchr を活用した日本語模擬授業の評価実験—」『日本語教育学会研究会第8回中国地区予稿集』pp.90-96、山口大学、2016.12

#### 研究プロジェクト

- (1) 平成27年度～29年度科学研究費補助金(基盤研究(C))「失敗から学ぶ日越ビジネスコミュニケーション指導法の開発」(研究代表者)

#### 柳田 直美

##### 口頭発表

- (1) 「接触場面における日本語母語話者の言語管理—「母語」を意識化する作業を通して—」、2016年度言語管理研究会分科会合同研究会(青山学院大学)、2016.12
- (2) (山口昌也、北村雅則と共同)「モバイルデバイス向け学習者用観察支援ツールの開発」、日本教育工学会第32回全国大会(大阪大学)、2016.9
- (3) 「日本語母語話者の「説明」に対する非母語話者評価の尺度開発」、Bali- ICJLE2016(バリ日本語教育国際研究大会)(BNDCC(インドネシア))、2016.9

##### 講演

- (1) 神奈川県横浜市鶴見区主催「鶴見区職員向け研修『『やさしい日本語』を知ろう!使おう!』」(神奈川県横浜市鶴見区)、2017.3.2
- (2) つくば市国際交流協会主催「やさしい日本語セミナー」(茨城県つくば市)、2017.2.25
- (3) 公益財団法人栃木県国際交流協会主催・高根沢町教育委員会・高根沢町国際交流協会共催日本語学習支援事業「やさしい日本語セミナー」(農村環境改善センター(栃木県高根沢町))、2016.12.10

#### 研究プロジェクト

- (1) 平成26年度～28年度文部科学省科学研究費(若手研究(B))「地方自治体の窓口における外国人対応支援のための研究」(研究代表者)
- (2) 平成28年度～30年度文部科学省科学研究費(基盤研究(B))「多文化共生社会におけるホストパーソン・支援者の接触支援スキルと意識の変容」(研究代表者:義永未央子)(研究分担者)
- (3) 平成28年度～30年度文部科学省科学研究費(基盤研究(C))「「価値観に働きかける研修」のあり方を問う基礎的研究」(研究代表者:宇佐美洋)(研究分担者)
- (4) 平成28年度～30年度文部科学省科学研究費(基盤研究(C))「「話し合い」の多文化間比較研究—文化を越えた対話能力の育成を目指して」(研究代表者:森本郁代)(研究分担者)
- (5) 平成25年度～28年度文部科学省科学研究費(基盤研究(C))「大学留学生と日本人学生の協同学習による対話能力育成カリキュラムの開発」(研究代表者:森本郁代)(研究分担者)

- (6) 平成 25 年度～28 年度文部科学省科学研究費（基盤研究（C））「日本語学習者の母語場面・接触場면을対象とした対話コーパスの構築と分析」（研究代表者：澤田浩子）（研究分担者）
- (7) 平成 28 年度～30 年度文部科学省科学研究費（基盤研究（C））「高等教育機関で学ぶ留学生に対する日本語教育シラバスの再構築」（研究代表者：太田陽子）（連携研究者）
- (8) 平成 27 年度～29 年度文部科学省科学研究費（挑戦的萌芽研究）「「私らしく」産出できるようになるためのウェブ型日本語教材の開発」（研究代表者：小林ミナ）（連携研究者）

#### 渡部 由紀

##### 論文

- (1) （太田浩と共著）「日本の大学の国際化評価に資する体系的指標群構築の一考察」『国際教育』22 号, pp. 55-82, 2016.10
- (2) （新見有紀子・太田浩・秋庭裕子と共著）「グローバル人材育成と留学の中・長期的インパクトに関する研究：留学経験者と留学未経験者に対するオンライン調査結果より」『アジア文化研究』23 号, pp. 3-25, 2016.6

##### 報告

- (1) 「第 2 章大学を対象とした大学国際化指標構築のためのデルファイ法調査」『デルファイ法による大学国際化指標体系の構築研究』2014 年度 明治大学新領域創生型研究報告書, pp. 5-23, 2016.7
- (2) （新田功と共著）「第 3 章学生を対象とした大学国際化指標高徳のためのデルファイ法調査」『デルファイ法による大学国際化指標体系の構築研究』2014 年度 明治大学新領域創生型研究報告書, pp. 24-56, 2016.7
- (3) （太田浩・新田功・野田綾香・金性希・武田巧と共著）「第 4 章大学国際化指標体系の構築」『デルファイ法による大学国際化指標体系の構築研究』2014 年度 明治大学新領域創生型研究報告書, pp. 57-72, 2016.7

##### 学会発表

- (1) （Anne D' Angelo・Gayle Woodruff・太田浩と共同発表）「Examining Internationalization Indicators and Metrics in the United States and Japan」NAFSA annual conference, Colorado, U.S.A, May 29<sup>th</sup>, 2016.
- (2) （新見有紀子・秋庭裕子と共同発表）「グローバル人材育成と留学の中・長期的インパクトに関する研究：留学経験者と留学未経験者に対するオンライン調査結果より」国際アジア文化学会第 25 回大会, 和洋女子大学, 2016.6

- (3) (新田功と共同発表)「学生の視点による大学の国際化：大学国際化指標に関するデルファイ法調査の結果に基づく考察」第21回留学生教育学会年次大会，大阪大学，2016.8

**研究プロジェクト**

- (1) 平成28年度～30年度科学研究費補助金(基盤研究(B))「急速に発展するアジアの高等教育における大学国際化評価に関する実証的研究」(研究代表者：新田功)(研究分担者)
- (2) 平成27年度～31年度科学研究費補助金(基盤研究(A)海外学術調査)「アジアにおける「知識外交」と高等教育の国際化に関する実証的研究」(研究代表者：北村友人)(研究協力者)

## 教員の海外渡航

### 阿部 仁

- (1) 2016.5.29~6.3 アメリカ (デンバー)  
NAFSA (Association of International Educators)年次総会での発表、出席
- (2) 2016.8.29~9.3 香港  
香港中文大学と開催した短期海外研修 (香港) のフィールド調査プロジェクト
- (3) 2016.9.12~9.16 イングランド (リバプール)  
EAIE (European Association for International Educators)年次総会への参加
- (4) 2017.2.13~2.22 スペイン (バルセロナ、マドリッド)
  1. バルセロナ ポンペウ ファブラ大学訪問及び協定締結に関する打ち合わせ
  2. 短期海外研修 (スペイン企業派遣) 視察
  3. 来年度の短期海外研修プログラム運営についてベルヘ社担当者との意見交換等
- (5) 2017.2.22~2.28 シンガポール、カンボジア (プノンペン)、マレーシア (クアラルンプール)
  1. シンガポール経営大学との短期海外研修新規立ち上げに向けた打ち合わせ
  2. プノンペン市内の起業ハブ見学と短期海外研修新規立ち上げに向けた打ち合わせ
  3. クアラルンプール Taylor's University 附属英語プログラム視察
- (6) 2017.3.5~3.9 オーストラリア (メルボルン)
  1. 短期海外研修 (オーストラリア) 視察
  2. 短期海外研修 (Global Professional Program) 新規立ち上げに向けた打ち合わせ

### 庵 功雄

- (1) 2016.10.28~10.31 台湾 (台北)  
東呉大学における集中講義
- (2) 2016.11.25~11.28 台湾 (台北)  
東呉大学における集中講義
- (3) 2017.3.9~3.21 台湾 (台北)  
東呉大学における教育実習引率および同大学における集中講義

### 太田 浩

- (1) 2016.4.13~4.16 スイス (ベルン)  
ベルン大学で開催された研究会議に招聘され、日本人の海外留学経験の長期的インパクトに関する調査結果についての発表
- (2) 2016.5.30~6.5 アメリカ (デンバー)

NAFSA 年次総会に出席し、大学国際化を評価するための指標に関して発表、学生交流協定についての打ち合わせ

- (3) 2016.9.12～9.20 イギリス (リバプール)  
EAIE 年次総会に出席し、外国学歴・資格認証に関するワークショップに参加、学生交流協定についての打ち合わせ、国際的な大学間交流・学生交流に関する情報収集
- (4) 2016.10.16～10.22 オーストラリア (メルボルン)  
AIEC 年次総会に出席し、ラウンドテーブルで日本における留学生の就職について発表し、海外留学の中長期的インパクトについてセッションで発表
- (5) 2016.11.1～11.4 タイ (バンコク)  
UNESCO Bangkok で開催された会議に出席し、大学国際化の指標開発に関して発表、アジアの高等教育における大学国際化評価についての打ち合わせ
- (6) 2016.11.22～11.27 オーストラリア (メルボルン)  
ディーキン大学で開催された研究会議に出席し、日本の大学国際化について発表、大学評価における指標開発についての情報収集
- (7) 2017.2.19～2.22 アメリカ (ワシントン DC)  
AIEA 年次総会に出席し、日本の大学における英語によるプログラム及び大学の世界展開力強化事業について発表
- (8) 2017.3.19～3.24 台湾 (高雄)  
APAIE Conference に出席し、ワークショップで日本の留学生受入れ政策について発表、HGP の事例研究についてもセッションで発表
- (9) 2017.3.7～3.11 香港  
「持続可能な国際教育推進のための研究コンソーシアム」主催の研修プログラム (香港・タイにおける最新国際教育交流事情研修) に参加し、英国型から中国型の教育制度に移行した香港の高等教育について調査

#### 奇 春花

- (1) 2016.8.31～9.3 香港  
香港短期海外研修視察
- (2) 2016.10.14～10.17 ベトナム (ハノイ、ホーチミン)  
JASSO 留学フェア参加
- (3) 2017.3.14～3.16 アメリカ  
Winter Institute for Intercultural Communication の参加

**五味 政信**

- (1) 2016.7.13～7.16 ベトナム（ハノイ）  
公益財団法人ヒロセ国際奨学財団奨学生選考面接
- (2) 2016.11.19～11.23 ベトナム（ハノイ）  
大学間学生交流支援でハノイ貿易大学を訪問
- (3) 2017.3.22～3.27 ベトナム（ダナン）  
中部方言調査等のためダナン外国語大学を訪問

**西谷 まり**

- (1) 2016.8.2～8.7 ベトナム（ホーチミン）  
日越ビジネスコミュニケーション研究
- (2) 2016.8.7～8.18 プノンペン（カンボジア）  
カンボジアメコン大学の日本語教師教育及びビジネスコミュニケーション研究
- (3) 2016.8.18～9.1 ベトナム（ホーチミン）  
大学院海外教育実習打ち合わせ及び、日越ビジネスコミュニケーション研究
- (4) 2017.2.25～3.11 ベトナム（ホーチミン）  
大学院海外教育実習サポート及び、日越ビジネスコミュニケーション研究

**柳田 直美**

- (1) 2016.9.6～9.11 インドネシア（バリ）  
Bali- ICJLE2016（バリ日本語教育国際研究大会）での研究発表

**渡部 由紀**

- (1) 2016.6.1～6.5 アメリカ（デンバー）  
NAFSA 年次総会に出席し、大学の国際化評価に関する調査結果について発表
- (2) 2016.9.8～9.11 韓国（釜山・ソウル）  
JASSO 留学フェア参加
- (3) 2017.3.19～3.26 台湾（高雄）  
APAIE 年次総会に出席し、アジアの高等教育における大学国際化評価に関する実証的研究に関する亜細亜大学関係者からの情報収集と調査協力依頼